

◆イトマン株式会社の研究調査成果

研究調査テーマ名	医療・介護現場における感染制御及び負担軽減のための紙製ディスポーザブル容器の開発及び事業化
実施期間	令和3年4月～令和4年2月
企業名	イトマン株式会社
研究調査概要	<p>感染症の脅威は増々大きくなり、色々な対策が継続して行われる状況の中、感染症対策に重要な医療介護用「リユース容器」が「使い捨て(ディスポーザブル)容器」に置き替わる市場を目標に、「便器」「尿器」「吐瀉物用容器」3品の上市を行った。今後は「紙製の使い捨て容器」の商品化を目指す。</p>
研究調査成果	<p>2年以上にも渡るコロナ禍で感染症に対する様々な対策が医療や介護現場にて実施されている昨今ではあるが、これらの現場で排泄物や吐物を入れる様々な形状の容器は依然として主にプラスチック製の「リユース容器」が使用されているものの、有効な感染症対策として既存の容器が「使い捨て(ディスポーザブル)容器」に次第に置き替わってゆき、ディスポーザブル容器の市場が広がっていくことが予想される。それに加え現在の日本においては、感染源となる排泄物や吐物を処理した後の容器を医療従事者や介護従事者が用手洗浄している病院・施設が圧倒的に多く、現場で過度の負担を強いられている。将来的には現場の負担軽減と医療・介護従事者の絶対的人員確保の観点から欧米で普及率の高い汚物処理器「マセレーター」が日本の病院介護施設に於いても徐々に使用拡大していくであろうという予測の下、「紙製ディスポーザブル容器」の開発を進めた。</p> <p>(上市した3品)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1. 便器</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2. 尿器</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>図3. 吐瀉物用容器(ガールベースン)</p> </div>

【本研究内容に関する問合せ先】

愛媛県四国中央市金生町下分680番地
イトマン株式会社
(URL: <https://e-itoman.jp>)

担当:デザイン推進部 中西 華子
TEL:06-6948-5669
E-mail:nakanishi@e-itoman.jp